

平成28年白老町議会議会運営委員会会議録

平成28年 3月28日（月曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前10時35分

○会議に付した事件

1. 議員派遣承認について
-

○出席議員（6名）

委員長	吉田和子君	副委員長	山田和子君
委員	大淵紀夫君	委員	小西秀延君
委員	吉谷一孝君	委員	西田祐子君
議長	山本浩平君	副議長	前田博之君

○欠席議員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

企画課アイス施策推進室長	遠藤通昭君
企画課長	高橋裕明君

○職務のため出席した事務局職員

事務局長	岡村幸男君
主査	増田宏仁君

◎開会の宣告

○委員長（吉田和子君） それでは時間になりましたので、議会運営委員会を開催いたしたいと思えます。

（10時00分）

○委員長（吉田和子君） きょうは議員派遣承認ということで、何のための派遣承認かということ、象徴空間整備に係る要望活動についてということですので、どういったことをしてくるのかということ担当課がきておりますので、担当課より説明をお願いしたいと思えます。

遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 本日の協議、お願いについてでありますけれども、今、民族共生の象徴となる空間の整備にかかって、今まさに国のほうでは今年度、来年度かけて、博物館の整備のほうについては基本設計、そして新年度については実施設計ということで進んでいく予定となっております。そして、もう一つは、民族共生公園のほうは、今年度28年度に足ちょっと入りますけれども、基本計画ということで進んでおります。こういう大切な時期に、地元の声を皆様一つとなって、ぜひ国のほう、関係する省庁、国土交通省、文化庁そして内閣官房と多岐にわたっておりますので、一度皆様にお集まりいただいて、地元の強い声、要望を伝えていただく機会を設けさせていただきたいと思っております。資料をお配りさせていただいておりますけれども、このたび考えておりますのは、要望書という形で書面に落として、今、象徴空間整備の検討を、地元でも、町でもいろいろ議論を進めさせていただいておりますけれども、いろいろな課題や問題点が少しずつ見えてきている部分がございますので、そういう部分につきましては地元白老町だけの問題ではなくて、国ですとか北海道全体含めて共通認識を持っていただいて、今後少しずつ一つずつでもいいと思えますけれども、そういう課題解決に向けた部分として協力をさせていただきたいということで、地元、役場そして白老町議会議員の皆様、そして白老町の活性化推進会議の各団体のメンバーにお集まりいただいて、地元一つとなって国のほうにそういう声を届けたいと思っております。要望の項目につきましては、この要望書に書いてありますとおり6項目出させていただいております。こちらの項目につきましては、国のほうからも要望の方法として北海道ですとか、そういう部分との調整を図ってしていくのが効果的ではないかということで、事前に北海道庁のほうとも協議させていただいて項目分けさせていただいております。具体的にちょっと説明させていただきますけれども、まず一つ目、平成29年度概算要望における施設整備費や用地購入費の十分な予算確保ということにつきましては、具体的には今まさに昨年議会でも議論になっておりました体験交流施設、その会議場、名前はまだ決まていないのですけれども、たくさんの方がお集まりになって活動できる専用ホールのような施設ができないかということで、今は、国のほうは公園の整備のほうでそちらのほう検討を進めていただいております。そういう中で、少しでも機能的に使いやすく、今のアイヌ民族博物館の踊りなどができるような施設を要求していきたいということで、この1番に必要な施設整備費の予算確保ということで入れさせていただ

いております。２項目め、町が今後実施する「象徴空間」を中心とするまちづくり事業への支援ということで、周辺整備も含めて今具体的にはありませんけれども、ハード面、ソフト面、補助金等々も含めて必要な支援をお願いしたいという趣旨でございます。三つ目、新千歳空港の旅客機の増便、空港や北海道新幹線との交通アクセスの改善ということで、これはＪＲも含めてそういう主要な交通アクセスから、今、ＪＲ一つとっても不便だということと言われておりますので、道路の整備ですとかＪＲ、特急の発着本数をふやすですとか、そういう部分の要請をしていきたいということでございます。四つ目、大々的な「象徴空間」ＰＲ活動の展開及び地元のＰＲ活動への支援。これにつきましても、地元から今どのようなことが行われていて、どのように進んでいるのかというのがわからないという一部声も聞かれますけれども、基本的にはまずこの施設を国が責任をもって整備するということで、国も前に立って、合わせて北海道も前面に立って、一緒にＰＲをしていただきたいということでございます。特にこのＰＲにつきましては、町内だけではなく、当然道内、道外、国内、海外に向けての情報発信がこれから重要になっていくと思っておりますので、今後正式名称が決まってＰＲをしていくときに町だけでは当然追いつかない部分でございますので、ここら辺はしっかり今の段階から国に強力に要請していきたいと考えております。五つ目なのですけれども、象徴空間以外の地域のアイヌ関連施設、アイヌ文化活動等との強力な連携ということで、この象徴空間ができたあとは国立の博物館ということで、白老だけのアイヌ文化の伝承だけではないということで、当然平取ですとか阿寒、道内の活発に活動されている地域との連携を深めて、白老のアイヌ文化も合わせて一緒に広めていかななくてはならないと考えておりますので、一般的な声で最近聞かれるのは、白老だけが得しているのではないかというような、地方ではそういう声も上がっておりますので、そうならないように国としても責任を持って、全道のアイヌの地域、文化、アイヌの方々の声を聞いて、一緒に整備を進めていただきたい、そういうふうに見えるようにやっていただきたいということで要望してまいりたいと思っております。最後の六つ目なのですけれども、アイヌ文化実践者や伝承者等人材育成及びアイヌ文化伝承活動支援の事業強化ということで、これは合わせて白老だけではなくて、全道のアイヌの方々が納得して象徴空間にかかわっていただけるようにしていただきたいということと、今後、具体的に象徴空間ができたときに、札幌のアイヌ文化推進機構と白老のアイヌ民族博物館が一つの法人になって運営していく予定なのですけれども、ここら辺の人材のきちんとした引き継ぎといいますか、確保、そして引き継がれた後もきちんとした処遇をしていただけるようにしていただきたいという、そういう趣旨も踏まえて要請項目とさせていただきます。それで、要請書のほうについては今のおりなのですけれども、その要請につきまして先ほども説明させていただきましたけれども、地元として本当に一つになって活動しているというところを見せる必要もでございますことから、白老町議会の議員の皆様がこの要請と一緒に参加していただきたいと考えております。それで、要請の際に山本議長様、前田副議長様、そして象徴空間特別委員会の委員長であります小西議員様、そして産業厚生常任委員会の委員長である広地議員様をお願いしたいと考えております。以上でございます。

○委員長（吉田和子君） 何かお聞きしておきたいことがあればどうぞ。

前田副議長。

○副議長（前田博之君） ほかに行く団体の人はここについている人方が行くということですか。総勢何人になるのですか。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 総勢役場も含めると14から15人くらいになるのかと思います。業務の都合で皆さん行けない方もおられると思いますけれども、最大限メンバーの団体から一人出ていただきたいという要請をあげさせていただいております。

○委員長（吉田和子君） ちょっとお伺いしたいのですが、その要望書の中に見えて商工会の会長が入られて建設協会の会長が入っていることは構わないのですが、どうして観光協会の会長がいないのだろうとちょっと思った。単純な疑問なのですが。

遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 抜けておりました。

○委員長（吉田和子君） 抜けているのですか。わかりました。いないのはちょっと変だと思ったものですから、大事なことだと思いますので抜かさないであげてください。

遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 町と議会と白老町活性化推進会議のメンバーをここにあげさせていただいております。

○委員長（吉田和子君） わかりました。あと、今の説明で何かお聞きしたいことがありましたら。

西田委員。

○委員（西田祐子君） ここにいるメンバーの方々十数名でいかれるということなのですが、この要望に行きましょうというのは、これは要望書（案）と書かれていますけれども、この要望書の案自体はどこでつくったのか、活性化委員会できちんとした話し合いがされて出されたものなのか、役場のほうなのか、どこがきちんとした形でこの要望書を出されたのか、その辺について。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 中身については正式に決定はしていませんけれども、今のこの派遣、議会も含めて参加者は決まり次第ちょっと日数少ないのですけれども、最終的に持ち回りで内容確認していただいて決めさせていただきたいと思っております。最終的には町長の決裁で出させていただきたいと考えております。

○委員長（吉田和子君） 西田委員。

○委員（西田祐子君） それでは、この活性化委員会とかのメンバーが行きますけれども、基本的には白老町としてこのような要望に行きましょうということをつくった企画というふうに理解してよろしいですね。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） そのとおりです。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） 2点私のほうから質問です。要望内容が全部で6点あるのですが、そのうちの上から4番目、大々的な「象徴空間」PR活動の展開及び地元のPR活動への支援となっていますけれども、これは国のほうから、あるいは道のほうから、具体的に何をしたらいいのかと聞かれたときにはどのような答えになるのでしょうか。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 具体的なPR活動への支援については、まず、施設の名称を早急に決めていただきたいという、まず前提としてございます。名称があっているいろいろな広報媒体に具体的に名前を載せてPRしていけるということですので、まずは名称を決めていただきたいということ、そして、PRに当たっては地元で白老町内で広報できる部分とあと全道ですとか全国に向けて、例えば旅行団体も含めて、交通事業者も含めて、国として責任を持って取り組んでいただきたいという、そういう要請をしたいと思っております。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） 大体わかりましたけれども、この支援というのは、お金の部分も含めているということで考えてよろしいですか。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） お金も含めて一つ目にありますけれども、そういうものも含めて、予算も含めてお願いしたいという気持ちでおります。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） もう1点は、かねてから私もいろいろな場面でお話させていただいているのは、よそにある国立博物館というのは大都市にあって、社会資本整備がしっかりとされている地域にあるのですけれども、この東京以北初めての白老はまだまだ進んでおりません。そのような中で特に懸念されるのは、各議員さんから今までいろいろな場面で質問出ていると思うのですが、JRのポロトの近くの踏切が特にそうだと思うのですが、今度学校の統廃合もあったりして、そういう子供たちの安全の確保も含めて、またあるいは観光客の方々がこられることも含めて、あの状況では非常に狭いと。JR北海道の協力をいただかなければ絶対ならないわけでありまして、この辺に関して、今回のこの陳情活動とは別に、JR北海道に対しての要請、要望、これはどのような形で現在展開されているのか、また、今後どのような考え方を持っているのか。その点をお聞きかせください。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） JRのほうの要請につきましては、具体的にはまだ接触、連絡含めてしておりません。要請につきましては、今この関係省庁回らせていただいた後に、また日を改めてJRと接触を持って要請をしたいと考えております。今、JRのほうは新幹線がおととい開業したのですけれども、一段落ついたということで、今後日を改めて調整させていただいて、その駅舎の改修ですとかポロトの踏み切りのそういう問題点をまずはぶつけていきたいと考えております。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） 本来であれば同時並行的にやらないと、スケジュール的な面もありま

すので、これはもう早く町としても対応していただきたいというふうに思いますし、今回の3月26日の新幹線開業がありましたけども、初日は満席に近いような状況、それでもまだ空きがあったと聞いております。しかしながら、それ以降のものは稼働率24、25%ということで、非常に低い状態のようでありますので、そういったことも含めて今回このここに象徴空間、国の施設ができるということは、私はJRにとってもプラス材料になると思うので、その辺も含めてしっかりと要望していただきたいと思います。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） このJRの要請につきましては、直接こういう公共機関を管理するのは国土交通省になるのですけれども、国との、その運輸局と直接話しするわけでもないのですけれども、例えばJRの駅舎ですとか跨線橋を改修するといった場合に、整備費として国が半分、残り4分の1をJRと地元が負担するというようなこともあって、相当予算もかかってくるということもありますので、そういうことも踏まえて町としてどこまでやっていくのか、そういう部分を整理した上でJRに当たっていかないと、向こうに行った方がいいけども、では地元としてそこまでかかる費用を、数億、数十億かかる費用をどうするのだということにもなりかねませんので、そこら辺は時間をかけて慎重に検討してJRに折衝していく必要があるのかと思っておりますけれども、その前段として、まずは姿勢として要請活動に行くというのは、また新しい体制になりまして整理した中で進めさせていただきたいと思っております。

○委員長（吉田和子君） もう1点いいですか。要望書をお渡しするだけではなくて、懇談の時間等も予定されているのですね。

遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 要請につきましては、この書面にしてまずはお渡しして、町、議会、関係団体の代表数名、時間も見まして、その発言内容も箇条書きにはなるのですけれども、ここら辺私どものほうで整理させていただいて、できるだけ早くというか、札幌、来週になるのですけれども、準備させていただきたいと考えております。

○委員長（吉田和子君） わかりました。ほかにございませんか。

吉谷委員。

○委員（吉谷一孝君） まずは札幌の要望活動の中で、道議会への要望といいますが、懇談をする時間をとれているのかどうなのかということ。道議会としてもアイヌ議連という形で何かやっただいているということがありますので、その辺の時間をとっているのか、アポイントメントは事前にとっていたのかということ。それと、東京要望につきましても、衆参の国会議員会館に北海道選出の代議士がいらっしゃいますけれども、その方々に対してのアポイントメントはとられているのかどうなのか、その辺お伺いしたいと思います。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 今の要望の具体的なスケジュールについては、（2）のほうでご説明させていただこうかと思っていたのですが、それでは、要望の内容について資料はございませんけれど、説明させていただきたいと思います。まず、北海道関係につ

きましては、来週の4月5日火曜日に予定をしております。要請先につきましては、今質問があった北海道議会、北海道議会のアイヌ政策推進北海道議会議員連盟というのが対象になっております。3名の先生のほうに代表して要請に行きたいと考えております。続いて、同じ4月5日になりますけれども、北海道開発局長、北海道開発局次長、あと関係する関係部長一同に集まっていただいて、まずは開発局に要請をしてまいる予定でございます。道内関係でいきますと、あと内閣官房アイヌ総合政策室の北海道分室、分室長の松浦さんという方がおられるのですけれども、こちらにも要請を予定しております。4月5日最後になりますけれども、北海道庁のほうで副知事、所管の環境生活部長、アイヌ政策推進室長を予定しているところでございます。時間のほうは4月5日細かくなりますけれども、道議会神戸先生のほうに12時半、北海道開発局のほうに14時半、内閣官房のほうは開発局終わり次第ということと、最後3時半に北海道庁のほうに移動してまた要請活動を行うということでございます。東京要望のほうは、再来週4月11日と12日の月曜日と火曜日を予定させていただいております。4月11日なのですが、午後15時以降になりますけれども、道内選出の衆議院、参議院の国会議員の皆様7名に事前に会えるようにアポイントメントをとらせていただいております。今、確実に面会できるという議員が、衆議院議員の吉川先生。これは国会のアイヌ政策を推進する議員の会の幹事長でもありますので、吉川先生はじめ、堀井学先生、佐藤英道先生、今津先生、伊藤先生、参議院橋本先生、横山先生で今調整をさせていただいております。直接は議員の都合で会えない方も多々おられると思いますけれども、その際は議員事務所に寄って、皆さんが来たということと要請書を提出させていただいて進めさせていただこうと思っております。翌4月12日火曜日なのですが、今時間はまだ未定ですけれども、午前中に内閣官房の審議官クラス、そして国土交通省の関係局長、都市局長、北海道局長に要請書を渡せるように調整をしております。あとは、博物館の関係で文化庁です。文化財部長と調整をさせていただいております。いずれにしても、国会が会期中ということもありまして、議員さんも国も関係省庁のほうも会えない方も出てくるかとは思いますが、まず皆さんで、地元で一つになって、そこに行つて要請をしたということを少しでも残して進めさせていただきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

○委員長（吉田和子君） ほかにありませんか。よろしいですか。

西田委員。

○委員（西田祐子君） すみませんが、11日の日に国会議員の方々7名とお話しするということだったので、先にちらっとお話ありましたアイヌ議連、国会議員の方々がつくっていただいたということなのですが、そういう方々と、今回会えるか会えないかは別として、東京で陳情する要望活動についてお会いすることとかそういうことはあるのでしょうか。その辺どうなのでしょう。できればそういう方々とお会いして要望するのが一番いいのではないかと。吉川先生、幹事長さんいらっしゃるのはいいかと思いつつも、本来であればお会いしたらいいのかと思つたのですが、その辺いかがでしょうか。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 今おっしゃられたことも含めて要望させていた

だいているのですけれども、やはり先生が忙しいということと、向こうの都合で言うと忙しさとこちらの人数が多いということで、まずは代表の方が受けるのが一般的ということで指示を受けておりますので、そこら辺は幹事長の吉川先生がアイヌ施策を推進する議会の会の方、そこから関係議員の方にお知らせしていただくということも合わせてお願いしておりますので、今回こういう形で取扱いをさせていただきたいと思っております。

○委員長（吉田和子君） よろしいですか。

山本議長。

○議長（山本浩平君） 先ほど遠藤室長が名前述べられた議員さんいましたよね。あの方たちは議連に入っています。だから、それはもう議連に入っていますので、西田委員、そういう人たちと結局会うということになります。全員ではないけども。超党派で議連つくっているからもうかなりの人数になるのです。先生たちのいろいろなスケジュールがある中で、7人、8人だとしても、これは十分そういう時間をつくっていただけるものになったというふうに捉えていますけれども。

○委員長（吉田和子君） 西田議員。

○委員（西田祐子君） 私は代表の方に会えればいいと思っただけで、ただ単に会うのではなくて、そういう方々にきちんとそういうふうに要望するのだということだけ確認したかった。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） 今、代表が誰なのですか。それを言ってあげてください。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 今、代表が吉川先生です。

○委員長（吉田和子君） 山本議長。

○議長（山本浩平君） 先ほど幹事長と言っていましたよ。

○委員長（吉田和子君） 遠藤アイヌ施策推進室長。

○企画課アイヌ施策推進室長（遠藤通昭君） 幹事長という名前が代表です。代表の役職名が幹事長になります。

○委員長（吉田和子君） よろしいですか。それでは、どうもご苦勞様でした。お引き取りください。ありがとうございました。どうもお疲れ様でした。

それでは、議題に入ってまいりたいと思います。では、きょう集まっていたのは、今説明を受けましたけれども、議員の派遣をしていただきたいということの町長からの要請でございます。今、十分説明は伺ったと思いますので、派遣予定者は山本議長、前田副議長、それから小西特別委員会の委員長、総務文教常任委員会の委員長でもあります。それから産業厚生常任委員会委員長の広地委員長の4名の派遣をしていただきたいということできておりますけれども、このことについては何かご意見がありましたら。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉田和子君） それでは、議会を代表して参加をしていただくということで、4名の派遣を議会運営委員会では承認するというのでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉田和子君） 要望書が議会運営委員会に示されましたので、この要望でよろしいかどうかということなのですが、まだ案ですので何かあればまたこちらからも要請していいと思うのですが、これでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉田和子君） それでは、議会運営委員会としてはこの要請の案でよろしいということで、しっかり要望してきていただきたいということで、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉田和子君） その他。

岡村事務局長。

○事務局長（岡村幸男君） その他というか今の本件に関連してですけれども、日程の調整ですけれども、今の出張の関係になりますけれども、日程については該当される正副議長、それから各委員長さんのほうに個別に説明をさせていただく形を取りたいと思っております。それと、旅費の関係なのですが実はみてございませんので、これについては不足分については時期を見て補正をさせていただく形になるかと思っておりますので、事前にその辺についても了承いただいておりますというふうに思います。私のほうからは以上です。

○委員長（吉田和子君） 今、岡村事務局長のほうから補正が組まれるということになるということですので、後で出てくると思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。そのほかに何か、その他でありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎閉会の宣告

○委員長（吉田和子君） なければ、以上で議会運営委員会を終わりたいと思ひます。どうもお疲れ様でした。

（午前10時35分）